

長雨・豪雨・台風時に 避難情報を確認し避難しましょう!

避難とは**難を避ける**こと、つまり安全を確保することです。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。



ハザードマップ(防災タウページ・ホームページ)で、安全な場所を確認しよう

問合せ先 危機管理室
☎072-433-7392

危険な場所にいる人は

警戒レベル
4

避難指示で必ず避難

※避難勧告は廃止です

※災害対策基本法の改正により5月20日から「避難勧告」は廃止され、「避難指示」に一本化されました。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です!
その場での最善の行動をしましょう。

警戒レベル4では、危険な場所から全員避難しましょう。
移動が危険な場合は、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル3で、避難に時間のかかる高齢者や障害のあるかたは、危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル	新たな避難情報など	これまでの避難情報など
5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	災害発生情報
警戒レベル4までに必ず避難! 警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません (必ず発令される情報ではありません)		避難指示(緊急) 避難勧告
4	ひなしじ 避難指示	避難準備・ 高齢者等避難開始
3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	

◆避難情報は、防災行政無線放送や市から発信する緊急速報メール(エリアメール)、テレビのテロップ放送、広報車巡回などでお知らせします。

◆高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保の発令は、原則、町単位で行います。

◆テレホンガイド☎072-433-7119
防災行政無線の放送が聞こえなかったり、聞き取りにくかった場合、放送内容を放送後24時間程度聞くことができます。

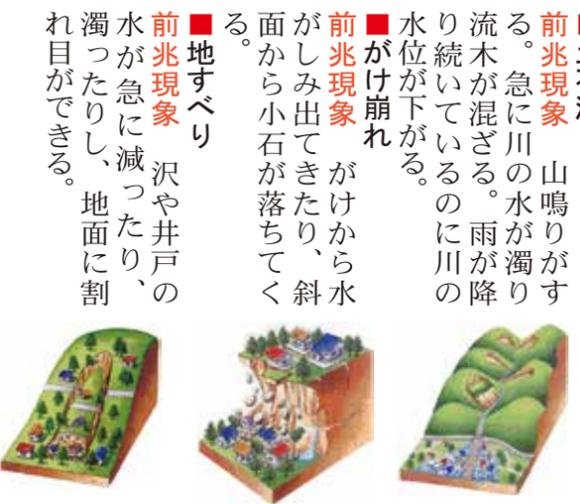
◆感染症を避けるため、避難所以外に、災害の危険が少ない地域の知人・親せき宅への避難も検討しましょう。

◆時間帯や降雨の状況により、避難所へ移動することが困難で、**自宅に留まらざるを得ないような場合には**、がけから離れた部屋や2階以上の部屋へ移動(垂直避難)しましょう。

◆避難所へ移動する時は、食料・飲料水・マスクなどをお持ちいただきますようお願いいたします。

◆雨がやんだ後も、土壌雨量指数(降った雨が土壌にどれだけ貯まっているかを指数化したもの)が下がらない場合には、土砂災害の危険があるため、避難指示が継続されることがあります。

◆豪雨などの被害を最小限に抑えるためにも、**大雨に備えて**日頃から側溝や排水溝の掃除・屋根・壁・塀の点検など、水害に備えた準備をしておきましょう。



土砂災害による人的被害の約9割は、過去100年程度災害のない箇所でも発生しています。さらに自然災害の死者・行方不明者の約半数は土砂災害が原因です(地震災害を除く)。普段から家族や地域ぐるみで、がけ崩れの恐れがある場所や避難場所について話し合い、実際に自分の目で確認しておく必要があります。なお、前兆現象を見かけたときは、できるだけ早く周囲の人と安全な場所に避難し、市役所にご連絡ください。

危険な場所と避難場所の確認を

長雨や大雨が多い6月は、土砂災害が起こりやすい時期です。狭い範囲で短時間に強く降る「局地的大雨」の発生回数は年々増加しています。国内で毎年約1000件発生している土砂災害のうち、ほとんどは雨によるものです。気象情報などを有効に活用し、いざという時に備えましょう。

6月は土砂災害防止月間です

「うちの裏山は崩れたことがないから大丈夫」が危ない!!

大雨による がけ崩れ 土石流に ご注意を!

緊急地震速報の訓練を行います

市では、消防庁・気象庁による全国瞬時警報システム(Jアラート)による緊急地震速報訓練を行います。
なお、携帯電話による緊急速報メール(エリアメール)は発信しません。
日時 6月17日(木)午前10時頃
内容 防災貝塚市から訓練放送を行います
問合せ先 危機管理室☎072-433-7392

ため池ハザードマップを作成しました

対象地区 堀大池(堀1丁目地内)、谷田池(三ツ松地内)
ため池ハザードマップは、災害時に万が一ため池が決壊した場合に、どの程度浸水被害が発生するかを示したものです。大切な命を守ることを最優先に、安全な避難行動を各自で考えるために活用してください。
ため池ハザードマップは、市ホームページまたはQRコードからご覧ください。



問合せ先 農林課☎072-433-7381